

## 平成28年度新津鉄道資料館入館者数等報告書

## 1 入館者数実績

		平成28年度		平成27年度		対前年比較			
		入館者数	入館料金	入館者数	入館料金	入館者数	入館料金	比率	
		(単位 人)	(単位 円)	(単位 人)	(単位 円)	(単位 人)	(単位 円)	(人数)	
有料入館者	個人	子供(小・中学生)	262	26,200	206	20,600	56	5,600	127.2%
		高・大学生	694	138,800	605	121,000	89	17,800	114.7%
		大人	23,528	7,058,400	23,897	7,169,100	-369	-110,700	98.5%
		小 計	24,484	7,223,400	24,708	7,310,700	-224	-87,300	99.1%
	団体割引	子供(小・中学生)	132	10,560	0	0	132	10,560	
		高・大学生	101	16,160	27	4,320	74	11,840	374.1%
		大人	1,798	431,520	1,295	310,800	503	120,720	138.8%
		小 計	2,031	458,240	1,322	315,120	709	143,120	153.6%
	個人割引	子供(小・中学生)	11	880	6	480	5	400	183.3%
		高・大学生	27	4,320	26	4,160	1	160	103.8%
		大人	2,119	508,560	1,048	251,520	1,071	257,040	202.2%
		小 計	2,157	513,760	1,080	256,160	1,077	257,600	199.7%
	年間パスポート	高・大学生	6	4,200	6	4,200	0	0	100.0%
		大人	345	345,000	374	374,000	-29	-29,000	92.2%
		小 計	351	349,200	380	378,200	-29	-29,000	92.4%
	合 計		29,023	8,544,600	27,490	8,260,180	1,533	284,420	105.6%
無料入館者	土・日・祝日無料開放(小中学生)	18,336		16,374		1,962		112.0%	
	平日未就学児童	3,292		1,763		1,529		186.7%	
	観覧料金免除入館者	1,076		513		563		209.7%	
	身障者等(付添い含む)	895		891		4		100.4%	
	年間パスポート再来館者	1,911		1,546		365		123.6%	
	視察・その他	618		397		221		155.7%	
	文化の日	776		642		134		120.9%	
合 計		26,904		22,126		4,778		121.6%	
総 合 計		55,927	8,544,600	49,616	8,260,180	6,311	284,420	112.7%	
開館日数		315日		316日					

## ※ 観覧料

大人		高・大学生		小・中学生		年間パスポート	
個人	団体	個人	団体	個人	団体	高・大学生	大人
300	240	200	160	100	80	700	1,000

## 2 概 況

平成28年度の入館者数は対前年比6,311人増となる55,927人(対前年比112.7%)という大幅な増となった。これは、平成27年度に取り組んだ実物車両の導入や各種企画展・イベント等の取り組みの成果が表れたものと思われる。

有料入館者数では、「個人」が対前年比224人減の24,484人(対前年比99.1%)となった。これは、平成27年7月に「485系特急電車・DD14型ディーゼル機関車」の導入を行い、この一般公開イベント(18日から20日)と今年度のサンクスフェア(16日から18日)の3日間だけで入館者が対前年比2,896人減となり、7月1ヶ月合計では対前年比1,052人減となったことが大きく影響している。

「団体割引」は、対前年比709人増の2,031人(対前年比153.6%)と大幅な増となった。この団体客のうち県外からの団体客が27年度は9団体-224人であったが、28年度は19団体-768人となり544人増となった。また、8月24・25日に来館された「柏崎市民号(大人138人・子供69名)」、3月9日東京千

代田区からの「JAマイズ多磨地区年金旅行(140名・他添乗員等19名)」のように大口の団体客が増えたことも大きい。

「個人割引」は対前年比1,077人増の2,157人(対前年比199.7%)であった。この内訳は27年10月から実施したJAF会員割引適用者が1,297人増の1,799人と大きく増となった反面、秋葉区文化施設相互利用適用者が、対前年比167人減の230人(対前年比57.9%)となった。

有料入館者数合計では、対前年比1,533人増の29,023人(対前年比105.6%)であった。

無料入館者数は「中学生以下の土・日無料開放及び平日の未就学児童」の入館者が対前年比3,491人増の21,628人(対前年比119.2%)と大きく伸びた。また、「観覧料免除入館者」が対前年比563人増の1,076人(対前年比209.7%)であったが、このうち市内小・中学校、特別支援学校の免除適用者が13組-599人に上り、小・中学校の校外学習の場として資料館が選ばれるようになってきたといえる。

無料入館者合計で対前年比4,778人増の26,904人(対前年比121.6%)となった。

4月 4月に入り気候も晴の日が多くなり、土・日・祝日を中心に多くの来館者で賑わい、総入館者数も対前年比で1,011人の増となった。特に、29日(金・祝)に687人、30日(土)に630人、2日間で1,317人の来館者があった。(27年の29日は352人、30日は平日(木)のため51人、計403人の入館者数だった。)

有料入館者は対前年比430人増の2,026人(対前年比126.9%)

無料入館者は対前年比581人増の1,706人(対前年比151.6%)

入館者合計では対前年比1,011人増の3,732人(対前年比137.2%)という結果となった。

#### 【企画展・イベント】

○ 4月9日(土)～5月8日(日)までの期間で多目的スペースで「蔵出し鉄道パネル」展

○ 鉄道模型走行会

4月29日(金・祝)～5月1日(日)新潟趣味鉄振興会・八千代Nゲージクラブ

○ 毎月第4日曜日に実物車両の運転席公開

4月は24日(日)に実施。更にGW期間中は4月29日(金・祝)から5月5日(木・祝)まで毎日実物車両の公開

5月 5月はGWを含め天候にも恵まれたこと、今年のGWの曜日配列が非常に良かったことにより4月に続いて多くの来館者で賑わった。5月1日にはリニューアルオープン以降10万人達成し記念セレモニーを実施した。

有料入館者計は対前年比800人増の3,892人(対前年比125.9%)

無料入館者計は対前年比824人増の3,100人(対前年比136.2%)

入館者合計では対前年比1,624人増の6,992人(対前年比130.3%)という結果となった。

#### 【企画展・イベント】

○ 4月9日(土)～5月8日(日)までの期間で多目的スペースで「蔵出し鉄道パネル」展

○ 鉄道模型走行会

4月29日(金・祝)～5月1日(日)新潟趣味鉄振興会・八千代Nゲージクラブ

5月5日(木・祝)萬代鉄道模型同好会

○ 5月14日(土)「SLばんえつ物語号」出張講座を実施。(講師 岩野学芸員)

○ 毎月第4日曜日に実物車両の運転席公開

4月29日～5月5日(木)及び5月22日(第4日曜日)に実物車両の運転台を公開した。

6月 「個人」が対前年比171人増の1,360人(対前年比114.4%)、「割引」が対前年比67人増の120人(対前年比226.4%)と大きく伸びたが、「団体」が対前年比123人減の191人(対前年比60.8%)と減となった

有料入館者計は対前年比126人増の1,705人(対前年比108.0%)

無料入館者計は対前年比556人増の1,514人(対前年比158.0%)

入館者合計では、対前年比682人増の3,219人(対前年比126.9%)となり、3カ月連続で対前年を超える実績となった。

#### 【企画展・イベント】

○ 6月4日(土)から7月11日(月)の期間で「鉄道七夕まつり」

○ 鉄道模型走行会

6月25日(土)・26日(日)エンドレスクラブ

- 6月25日(土)から7月10日(日)の期間で「魅惑の鉄道切符」展
- 6月18日(土)に「SLばんえつ物語号出張講座」を実施 (講師 岩野学芸員)

7月 7月16日～18日に実施した2周年記念イベント「サンクスフェア」の入館者数が、昨年新規導入した「485系・DD14」の一般公開を行った「リニューアルオープン1周年イベント(18日～20日)」と比較して2,896人減(対前年比57.3%)となったことが大きく影響し、7月の入館者数は大幅な減となった。

有料入館者計は対前年比940人減の3,831人(対前年比80.3%)

無料入館者計は対前年比1,121人減の3,352人(対前年比74.9%)

入館者合計では、対前年比2,061人減の7,183人(対前年比77.7%)と大きく落ちこむ結果となった。

#### 【企画展・イベント】

- リニューアル2周年記念「サンクスフェア」の開催(7月16日～18日)
- 鉄道模型走行会  
7月16日(土)～18日(月・祝) 八千代Nゲージクラブ
- 特別展「日本海縦貫線」を開催。大阪～青森間を結んだ「日本海縦貫線」の歴史を紹介。(9月5日まで企画展示室で開催)
- 「ばんえつ物語号フォトコンテスト作品展」(9月5日まで開催)
- 「にいつ鉄道三昧」の実施(7月18日)  
JR新潟支社主催による新潟運輸区・総合車両製作所・新潟鉄道資料館の3箇所を巡るイベントを開催。
  - ・ 新潟駅、新潟運輸区、総合車両製作所、新潟鉄道資料館、新潟商店街をつなぐ「入鉄ラリー」を実施。3箇所以上の入鉄者に鉄道グッズをプレゼント。スタンプ台紙800枚を配布し景品引換数は420人であった。
- 「四国鉄道文化館」姉妹館交流事業
  - ・ サンクスフェアに合わせ西条市の物産・観光ブースを出店。(7月17日)
  - ・ 西条市観光交流センター副館長佐竹浩氏の特別講演会「十河信二と四国鉄道文化館」を開催。(7月17日)
  - ・ 四国鉄道文化館で新潟市観光ブースを出展。(7月30日～31日)また、記念講演会を開催(講師岩野学芸員)
- JRグループ(株)びゅうトラベルサービス主催の「にいつ鉄道三昧2016へ行こう」(1泊2日コース・日帰りコース)の団体(大人36人・小学生1人・添乗員2人)が来館。

8月 入館者数は、お盆期間(8月6日～8月14日)の入館者数が対前年比756人減(対前年比76.3%)と落ち込んだため前年実績達成が懸念されたが、15日から18日までが毎日300人前後の入館者があったこと、及び柏崎市民号団体が207名(中学生以下の無料入館者69名を含む)あったこと等により前年実績を超えることが出来た。

有料入館者計は対前年比283人増の3,868人(対前年比107.9%)

無料入館者計は対前年比556人増の3,326人(対前年比120.1%)

入館者合計では、対前年比889人増の7,194人(対前年比113.2%)という結果であった。

#### 【企画展・イベント】

- 特別展「日本海縦貫線」を開催。大阪～青森間を結んだ「日本海縦貫線」の歴史を紹介。(9月5日まで企画展示室で開催)
- 実物車両スタンプラリー  
8月1日から31日の期間で実施。北側エリア(200系)と南側エリア(485系)の2ヵ所にスタンプを設置して開催。
- 親子鉄道模型工作教室  
8月6日(土)・7日(日)の2日間開催。昨年が続いて2回目の開催。
- 実物車両特別見学ツアー  
8月21日(日)に開催。午前の部(200系)と午後の部(485系)の2回開催。

午前の部は13名、午後の部は20名の参加者であった。

- 鉄道模型走行会  
8月27日(土)・28日(日)の2日間、新潟モジュールレイアウトクラブ
- 特別展記念講演会  
日時 8月28日(日) 13時30分～16時  
場所 地域学園 201研修室  
講師 長浜鉄道スクエア名誉館長 地域遺産プロデューサー 米山 淳一氏  
鉄道博物館 副館長 荒木 文宏氏

9月 平成27年9月は19日(土)から23日(水・祝)までが五連休(シルバーウィーク)となったが、今年度は休日が分散したため入館数に大きく影響し対前年実績を下回る事となった。  
有料入館者数は対前年比429人減の2,575人(85.7%)  
無料入館者数は対前年比208人増の2,186人(対前年比110.5%)  
入館者合計では対前年比221人減の4,761人(対前年比95.6%)となり、7月に次いで今年度2回目の対前年を下回る事となった。

#### 【企画展・イベント】

- 特別展「日本海縦貫線」を9月5日(月)まで開催。
- 9月10日(土)～10月2日(日)までの期間で多目的スペースで「新潟県内の駅」写真展開催
- 鉄道模型走行会  
9月17日(土)～19日(月・祝)の3日間、萬代鉄道模型同好会

10月 宮田亮平先生作品「花の道 夢の道」壁画公開記念式典(15日)、にいつまるごと鉄道フェスタ(8日)・向谷実の一日館長(8日)・鉄道講演会(9日)及び、鉄道模型走行会(8日～10日)等のイベントを実施した。

有料入館者数は対前年比307人増の2,896人(111.9%)  
無料入館者数は対前年比814人増の2,906人(対前年比138.9%)  
入館者合計では対前年比1,121人増の5,802人(対前年比123.9%)という大幅な増となった。

#### 【企画展・イベント】

- 宮田亮平先生作品「花の道 夢の道」公開記念式典
- にいつまるごと鉄道フェスタ
  - ・ 向谷実の一日館長と駅中サテライトでミニ企画展示を実施
  - ・ 向谷実の鉄道メロディ&トーク・・・10:30～11:10 新津駅東口でライブ実施
  - ・ 鉄道お宝トーク・・・13:30～14:40 新津地域学園201研修室で開催
  - ・ CD購入者にサイン色紙をプレゼント。(先着20名)
  - ・ 向谷実との記念撮影会(先着20名)
  - ・ 実物車両運転席公開・・・10月8日・9日・10日の3日間運転席を公開した。

- 鉄道講演会  
10月9日(月・祝)14:00～15:30大熊孝夫氏による鉄道講演会を開催。
- 鉄道模型走行会  
10月8日(土)～10日(月・祝)の3日間、新潟趣味鉄振興会・八千代Nゲージクラブ

- 鉄×フォトギャラリー「私の鉄道・思い出の写真」  
10月8日(土)～11月7日(月)の期間で開催

11月 有料入館者数は「個人」が対前年比304人減の1,486人(対前年比83.0%)と大きく落ち込む結果となった。

無料入館者数では、11月3日の観覧料無料開放日が対前年比134人増の776人(対前年比120.9%)と天候が雨模様と良くなかった割には対前年比を大きく更新することとなった。

有料入館者数は対前年比292人減の1,876人(対前年比86.5%)  
無料入館者数は、対前年比908人増の2,871人(対前年比146.3%)

入館者合計では対前年比616人増の4,747人(対前年比114.9%)という結果となった。

#### 【企画展・イベント】

- 鉄×フォトトーク「私の鉄道ーフォトコレクション2016」

11月27日(日)14時～15時30分の時間で3名の応募者が応募作品について発表

12月 有料入館数は「個人」が対前年比72人減の826人(対前年比92.0%)となり2カ月連続で対前年割れとなった。(今年度5回目)

無料入館者は「中学生以下の土・日無料開放及び平日の未就学児童」の入館者が対前年比390人増の1,063人(対前年比157.9%)と増となった。

有料入館者数は、対前年比381人増の1,365人(138.7%)

無料入館者数は、対前年比464人増の1,287人(対前年比156.4%)

入館者総計では対前年比845人増の2,652人(対前年比146.8%)となり、3ヶ月連続で対前年実績を上回っている。

#### 【企画展・イベント】

- パネル展「時刻表タイムトラベル～昔の鉄道で旅しよう」12月3日～12月26日で開催。資料館の姉妹館である四国鉄道文化館のある伊予西条駅と新潟駅の往復鉄道旅行を大正、昭和、平成3年、平成28年の時刻表を使っての疑似体験。

1月 平成28年1月の降雪量は12日に約20cm、24日には70cmの降雪等、断続的に雪が降り秋葉区の1月の降雪量は県内唯一の平年を上回る降雪量(187cm)となり入館者数にも大きく影響したが、今年は1月13日に降雪10cm、14日には降雪約60cm、積雪約70cmとなったが、その後は冬型の天候も緩み1月下旬には積雪は殆ど無い状況となり、この天候状況が入館者数の増に大きく影響することとなった。

有料入館者数は、対前年比385人増の1,341人(140.3%)

無料入館者数は、対前年比624人増の1,477人(対前年比173.2%)

入館者合計では対前年比1,009人増の2,818人(対前年比155.8%)という好結果となった。

#### 【企画展・イベント】

- 参加型企画「新春 鉄道用語で書初め 2017」  
1月14日(土)～2月5日(日)多目的ホール・企画展示室で開催。新津第一小学校生徒の応募作品162点など合計198点の作品を展示。

2月 2月は積雪も無く天候も比較的安定し入館者数は前年並みの入館数となった。

有料入館者数は「個人」が対前年比91人減で1,160人(対前年比92.7%)、と落ち込んだが、「個人割引」が対前年比84人増の149人(対前年比229.2%)と大きく伸びた。これは前月と同様に「JAF会員割引」適用者が前年の50人から140人と大きく伸びたことによる。

有料入館者数は、対前年比61人減の1,343人(95.7%)

無料入館者数は対前年比81人増の1,344人(対前年比106.4%)

入館者合計では対前年比20人増の2,687人(対前年比100.7%)前年並みの実績であった。

#### 【企画展・イベント】

- 新収蔵品展  
2月18日(土)～3月13日(月)の期間でリニューアルオープン以降に寄贈された鉄道資料約40点を展示
- 鉄道模型走行会  
2月18日(土)～2月19日(日)新潟モジュールレイアウトクラブ

3月 3月は土・日・祝日の天候に恵まれたこと、及び開館日が前年より1日多かったことから入館数は対前年を大きく上回る結果となった。この結果、3月19日には「リニューアルオープン以降入館者数15万人に達成し、当日15万人目となる中央区の本間航太君(5歳)ら家族3人に資料館から記念品をプレゼントするイベントを実施した。

有料入館者数は、「個人」が対前年比323人増の1,922人(対前年比120.2%)、「団体割引」では東京都千代田区から140名という大口団体の来館者があった。

無料入館者数は「中学生以下の土・日無料開放及び平日の未就学児童」の入館者が対前年比200人増の1,563人(対前年比114.7%)であった。これは、今年度実施した臨時キッズコーナーやトイレインを開設したことなどが小学生以下の来館者の増に繋がったものと思われる。

有料入館者数は対前年比543人増の2,305人(対前年比130.8%)

無料入館者数は対前年比283人増の1,835人(対前年比118.2%)

3月の入館者数合計では対前年比826人増の4,140人(対前年比124.9%)という結果であった。

【企画展・イベント】

- 参加型企画「空想鉄道旅行 プレゼンテーション会議」  
3月19日(日) 14:00～15:30 多目的スペース  
「新潟発 グリーン車にしか座ってはいけない2泊3日の旅」に即した4人の企画(5本)が発表された。
- 鉄道模型走行会  
3月25日(土)～3月26日(日)新潟大学鉄道鉄道研究部

3 添付書類

- 1-1 平成28年度月別入館者数
- 1-2 平成28年度月別「有料団体」入館者実績表
- 1-3 平成28年度月別「入館料免除団体・グループ」実績表
- 1-4 平成28年度月別「視察・その他」実績表
- 1-5 平成28年度月別「入館料免除・割引対象者」入館実績内訳及びサテライト実績
- 1-6 平成28年度月別入館者数(対前年比較)

以上





















